

8.4 五ヶ瀬川全国1位

24. 宮日 1級河川水質 本庄川は14位

国交省

国土交通省は31日、生物化学的酸素要求量(BOD)を指標とする2011年の1級河川とその水系の支川の水質現況を発表した。全国164河川のうち、10年に16位だった本県の五ヶ瀬川が1位となった。本庄川は14位(10年24

位)、小丸川も14位(同14位)、大淀川が127位(同116位)だった。五ヶ瀬川は18年当たり平均BODが前年より0・1ミリリットル減って0・5ミリリットルになり、1987(昭和62)年のランキング開始以来初の1位となった。

た。管理する延岡河川国道事務所は「同じく1位の球磨川水系の川辺川などと違い、五ヶ瀬川は人口密集度の高い延岡市の中心部を流れているのに水質がいい。流域住民一人一人の河川浄化に対する心掛けの結果。各市町村の生活排水対策事業も奏功した」と評価する。平均BODが0・5ミリリットルは、このほか全国に11河川あった。

大淀川は平均BODが0・1ミリリットル増えて1・2ミリリットルになったが、宮崎河川国道事務所は「水量が多く結果がよかつた2010年に対し、平年並みに戻った。悪い傾向ではない」としている。九州での順位は五ヶ瀬川1位(10年3位)、本庄川3位(同4位)、小丸川3位(同2位)、大淀川21位(同17位)。

延岡河川国道事務所は「同じく1位の球磨川水系の川辺川などと違い、五ヶ瀬川は人口密集度の高い延岡市の中心部を流れているのに水質がいい。流域住民一人一人の河川浄化に対する心掛けの結果。各市町村の生活排水対策事業も奏功した」と評価する。平均BODが0・5ミリリットルは、このほか全国に11河川あった。